



家庭と学校と地域・支援者と病院で考える子育て

～子どもたちの未来のために私たちができること～

多様化する価値観や生活スタイルとともに、現代の子育て・教育事情は目まぐるしく変化しています。学校・医療・療育機関・子育て支援の場といった、子どもに関わる様々な場でも、数年前とは比べ物にならないほど、子どもへの支援は充実してきました。

しかし、個々の支援は充実していく一方、各機関の間での連携、保護者との連携、といった部分は、まだまだ十分でないという実情があります。

そこで、今回は児童精神科医の桑原先生をお招きし、医療・発達障害の臨床と研究の経験と知見から、現代社会に求められる子育て・支援についてをお話していただきます。

子育て中の方ももちろん、学校の先生や医療関係の皆さま、子育てを応援したいと願っている皆様にも、知っていただきたい内容がたっぷり詰まった特別講演会です。皆様のご参加、お待ちしております。

参加無料

録画配信あり

※受付締切：11月3日(木)
(定員になり次第受付終了)

児童精神科医として、浜松で去年まで5年ほど、楽しく仕事をしておりました。今回は久々に、浜松で仕事ができ、とても嬉しく思っています。恩返しというおこがましいのですが、何か浜松の皆様の役に立てるようなことを、少しでもお話できたらな、と準備を進めております。

自分のわからないことやできないことも、いっぱいあると思うのですが、子ども達に何が本当のところ必要なのか、皆様と一緒に考える機会にできたら、と願っております。

桑原 斉

講師紹介

くわばら ひとし
桑原 斉先生

埼玉医科大学医学部精神医学 教授



平成12年に東京大学医学部付属病院精神神経科教室へ入局。JR東京総合病院、都立松沢病院、都立梅が丘病院などで臨床経験を積む。
平成19年東京大学大学院医学系研究科脳神経医学専攻修了。
平成22年より東京大学大学院医学系研究科こころの発達医学分野助教。
平成26年4月より東京大学バリアフリー支援室准教授。
平成29年4月より浜松医科大学子どもこころの発達研究センター特任准教授、
平成30年4月より浜松医科大学精神医学講座准教授、令和3年7月より現職。
専門は児童精神医学及び発達精神医学。発達障害を主たる対象とした臨床業務に従事する傍ら、脳画像研究、分子遺伝学研究にも関与。

日時 2022年 11月6日(日) 14:00~16:30(開場13:30)

会場 浜松市地域情報センター 1Fホール (浜松市中区中央一丁目12-7)

〈アクセス〉 遠州鉄道「遠州病院前」から徒歩2分、JR浜松駅から徒歩10分

プログラム (予定)

- 14:00~14:30 第1部 各団体の紹介
- 14:40~16:10 第2部 講演
「家庭と学校と地域・支援者と病院で考える子育て」
- 16:10~16:30 質疑応答

注目!

申込者全員に録画配信あり!

当日の様子を、1か月の期間限定で配信します。期間中は何度でもご視聴いただけます。

※録画配信のみをご希望の場合も事前申込が必要です。

定員 会場 80名(先着順) 動画視聴 定員なし

※会場での受講者を除く。録画視聴のみの参加者

お申込方法 右のURLまたはコードからフォームに必要事項を入力し、送信してください。 ※要事前申込。受付締切：11月3日(木)

- 当講演会は、会場での実施に加え、録画配信も行います。お好きな参加方法をお選びいただけます。
- 当日の会場参加状況に関わらず、全員に後日録画配信を行います。
- 受講方法に関わらず、事前申込が必要です。お申込み完了後に配信される自動返信メールをもってお申込完了となります。録画配信のご案内は後日ご登録のメールアドレスへメールにてお送りします。ご登録の際はメールアドレスにお間違いが無いようご注意ください。
- お申込み期限内であっても、当日会場参加の定員に達した場合は、受付終了とさせていただきます。何卒ご了承ください。

当日会場参加
はこちら

後日録画配信
はこちら

<https://bit.ly/kaijyo116>

<https://bit.ly/6Ga116>



※会場への参加申込をされた方は全員録画配信もご案内いたしますので、録画配信への追加申込は不要です。

主催：浜松子ども支援NET お問い合わせ：浜松子ども支援NET講演会2022事務局 folder.kanri@gmail.com

共催：アクティブ(保護者と支援者の会)、NPO法人はままつ子どものこころを支える会(すまいる)、公益社団法人子どもの発達科学研究所、NPO法人しずおか・子ども家庭プラットフォーム、一般社団法人ここみ、NPO法人遠州精神保健福祉をすすめる市民の会(E-JAN)

後援：浜松市、浜松市教育委員会

浜松子ども支援NETとは…？

浜松市の子どもや保護者の方を支援している団体が、連携して支援の輪を広げ、支援を必要としている方々が、身近な場所で必要な支援が受けられるようになることを目標としています。

現在、以下の6つの団体で構成されています。

ホームページはこちら

<https://hamamatsu.kodomoshien.net/>



浜松子ども支援NET

アクティブ(保護者と支援者の会)

発達障がいなどの生きにくさがある子を育てる保護者と支援者が、「子どものこと・学校のこと・考える・行動する・解決する」をテーマに定例会やおしゃべり会などを実施し、社会的に生きにくさがある子のライフステージごとの支援充実のために活動を行っています。



Facebook

★ アクティブFacebook <https://www.facebook.com/active.hamamatsu/>

NPO法人 はままつ子どものこころを支える会(すまいる)

浜松市内に住む、全ての小中学生及び、その保護者を対象として、子どもが安心して生活できる居場所づくりを目指しています。現在、市内校外適応指導教室を9箇所委託の運営、ピンポイント研修会などの人材育成を行っています。



HP

★ すまいるHP <https://www.kodomosmile.net/>

公益社団法人 子どもの発達科学研究所

大阪大学大学院・浜松医科大学等の子どものこころの発達研究センターとの連携のもと、全ての子ども達が輝ける社会の構築を目指し、科学的根拠に基づく子育て・教育の普及と啓発活動を行っています。

保護者の方はもちろん、子どもの発達に関わる方々に、医療・生活・教育などの様々な場面でご活用頂けるプログラムの研究開発をし、子どもを支えるスペシャリストの育成も行っています。



HP

★ 研究所HP <https://kodomolove.org/>

NPO法人 しずおか・子ども家庭プラットフォーム

児童虐待など不適切養育が広がる中、浜松市児童家庭支援センター事業を受託運営し、子どもと家庭からの相談に応ずるとともに、支援の最前線で活動している方々への支援を行っています。又、コロナ禍で困窮している家庭への食材支援を始めました。2018年4月より、浜松市社会福祉事業団とともに共同企業体(JV)を結成し、浜松市発達相談支援センター『ルピロ』の運営にも参画を開始しました。社会的養護への支援発達障害者支援とを合わせて行うことを目指しています。



HP

★ プラットフォームHP <https://www.npo-platform.com/>

一般社団法人 ここみ

2008年から子育て支援の市民団体として活動し、2021年1月一般社団法人ここみとして新たにスタートしました。「ここでみんなで育ちあい、学びあい、支えあい」を合言葉に子育て、親育ちを支える事業として、浜松市委託子育て支援ひろば3か所の運営、産前産後の家事・育児をサポートするここみドゥーラ事業(浜松市はますくヘルパー受託)、子育て支援の人材育成、講師派遣等を行っています。



HP

★ ここみHP <https://npa-kokomi.jimdofree.com/>

NPO法人 遠州精神保健福祉をすすめる市民の会(E-JAN)

平成9年に発足し、精神に障がいを持つ人にも暮らしやすいまちづくりを目指し、それぞれの所属や立場を超え、専門職、家族、障がいを持つ当事者が一緒になってネットワークを作ってきました。平成29年には市内5つ目となる認定NPO法人となっています。最近では、「ひきこもり相談支援事業」「地域若者サポートステーション事業」等も受託し、ひきこもりに悩む本人や家族との相談や訪問支援から、無業の方の就労支援まで、保健、福祉、医療、教育、労働分野など連携しながら、多方面に跨る若者の支援に積極的に取り組んでいます。



HP

★ E-JAN HP <https://npo-e-jan.com/>